

令和4年度 榴岡図書館利用者懇談会 実施報告

- 1 日時 令和5年2月10日(金) 13時30分～15時
- 2 会場 仙台市生涯学習支援センター 5階 第2セミナー室
- 3 出席者 一般利用者 : 2名
学校関係者 : 1名
仙台市生涯学習支援センター : 1名
榴岡図書館 : 榴岡図書館長
他スタッフ2名
丸善雄松堂仙台センター2名

- 4 内容
1. 開会
 2. 挨拶 榴岡図書館長
 3. 自己紹介
 4. 榴岡図書館へのご意見・要望
 5. 令和4年度 自主事業の報告
 6. 閉会

5 榴岡図書館へのご意見・ご要望等

ご出席者の運営評価、皆様から頂戴しましたご意見・ご要望は以下の通りです。

(1) 榴岡図書館の事業へのご意見・ご要望

- ・利用者アンケートの中に「図書館なのうるさい」といった意見があるようだが、詳細を知りたい。
 - ・BGMも必要だが、静かな音がない空間も必要だと思う。(学校関係者)

【榴岡図書館からの回答】

事務所の壁の天井部分が開いており、電話対応や打ち合わせの声も聞こえてしまっている状態。BGMを流して対策はしているが、構造上の問題もあり長年の課題として捉えている。

- 声が響かないような対策はできるのか(学校関係者)
- 修繕等の施設管理については、丸善(榴岡図書館)からパルシティ管理事務所へ申請すれば対応してくれるはずだが、予算の関係ですぐに対応してくれなこともある。直したい旨の声掛けだけは続けた方がいいと思う。(仙台市生涯学習支援センター)
- 飛沫防止シートやアクリル板越しに話すと、マスクで声もこもって聞こえづらくなるため、声も大きくなるのだと思う。カウンターの声が響くのであれば、小さいスピーカーを設置するなど検討した方がよい。(仙台市生涯学習支援センター)
- カウンター利用時、また複写申し込みなどで分からないことを聞いたり、お世話になっている。いつも「わからないことはないですか」等話しかけてくれてありがたい。そのフレ

ンドリーさが榴岡図書館のいいところだと思う。話しやすさの雰囲気は変えないでほしい。感じ方にもよるが、長い時間いることはあるが、不快に思ったことはない。(利用者)

○エレベータの使用状況から、4階の利用が一番多い。来館者が多い中、不審者対策について、また急病人が出た時の対応は男性が1人いると少しは違うと思うが、体制はどのように考えているのか。特に不審者やクレーマーにとって、女性は下に見られがちなので、運営体制は経営側がしっかりした体制を整えてほしい。困った時は支援センターの男性職員を呼んでもいいと伝えてはいるが、なるべく現場に男性がいた方が良くと思う。(仙台市生涯学習支援センター)

○図書館で(防犯)訓練などは実施していないのか。さす又は力のある何人かで対応しないと意味がない。(学校関係者)

【榴岡図書館からの回答】

2月の定例休館日に警察の方を呼んで、防犯研修を実施する予定。さす又と、身近なものを使つての護身術などを教えていただこうと思っている。

○防犯グッズは、職員が利用者を守ることを前提としないと動けない。さす又はチームで対応しないと防犯にはならない。もっと考えるのであれば、大きな音を出す、催涙スプレーや蜂ジェットで対応する、カラーボールをそろえる。その時の対応によって必要なものは警察の方が教えてくれると思う。また、5階に声をかけて良いと言われているようなので、そういった連携は引き続き必要だと思う。(学校関係者)

○不審者やクレーマーは、女性に対応すると見下されることが多々あり、男性職員に代わると落ち着くことがある。図書館にも男性職員が必要だと思う。(仙台市生涯学習支援センター)

【榴岡図書館からの回答】

新人の若いスタッフほど怒鳴られて萎縮してしまうが、後ろからベテランスタッフが声をかけることで利用者も落ち着くこともあるので、状況を見ながら対応している。

○ハード面を整えることは難しいと思うが、ソフト面を整えることは比較的すぐにできると思う。図書館が対応に苦労していることは知っている。「本を読む人はみんな優しいね」や「図書館に来る人は大きな声を出さないね」など、標語を募ったり貼ったりしても良いと思う。(仙台市生涯学習支援センター)

○借りるときにカバーを必ず持参するが、たまたま持っていなかった時に、イベントのチラシや、図書館だよりのバックナンバーでもいいので、カバーになるものが置いてあると嬉しい。(利用者)

【榴岡図書館からの回答】

以前に設置したことがあったが、すぐに在庫がなくなっていた。イベントのチラシ等を活用すれば告知も兼ねられるので検討したい。

○椅子、テーブルを増やしてほしいという意見が利用者から出ているようだが、実現はする

のか。(利用者)

【榴岡図書館からの回答】

コロナ禍で一時的に席数を減らしていたが、徐々に戻す予定。

○閲覧席がカウンターから離れたところにあるので、選んだ本を閲覧席まで持って行って読んでいいか躊躇する時がある。何か案内などあると良い。(利用者)

【榴岡図書館からの回答】

エレベーターホールからすぐに自動ドア（常に開放している）があるため、館内からエレベーターホールにある閲覧席まで本を持ち出して良いか心配になる方もいる。今後の案内表示など検討する。

○とても利便性の良い立地だと思う。所蔵を増やしてほしい意見もあるようだが、図書館の面積では難しいと思う。(利用者)

【榴岡図書館からの回答】

限られた空間に資料を収めるのはとても苦慮している。利用者にとって見やすいように心がけてはいる。今後も見づらいつい等意見があれば伝えてほしい。

○図書館が頑張っているのはスタッフの様子からも窺える。今後も頑張ってもらいたい。こういった労いの投書はできるのか。(仙台市生涯学習支援センター)

【榴岡図書館からの回答】

館内にご意見箱を設置している。どんなご意見も投書可能としている。

(2) 榴岡図書館自主事業について

- ・ 令和4年度実施事業
- ・ 学校連携（大学への講師派遣）
- ・ 来年度の事業計画

告知は館内掲示のポスターやチラシの配布、Twitterでの告知等実施しているが、他に宣伝できる媒体、また、どの媒体から情報を得やすいかご意見をいただきたい。

○貸し出しのついでに直接チラシをもらうのが一番効果的だと思っている。掲示されていても意識しなければ見ない。「声をかけてもらった」ということにも効果があると思う。（利用者）

○年配の方はやはり紙が有効的。若い方はネットを活用する印象。興味がないとスルーされてしまうのはセンターとしても課題として捉えている。

○今はお店のお知らせなどもLINEを活用している企業が多い。紙よりは直接利用者に届くので良いのではないかと思う。

（仙台市生涯学習支援センター）

○図書館企画のイベントは、市民センターで実施するイベント並みの量をこなしている。シニア世代向けのハローワーク連携講座や、地域包括支援センターとの連携講座でアルツハイマーを取り上げた際も、参加者が多く見受けられたので、興味のある方は多いと思う。シニア世代の気になるテーマで、年金や贈与税などの講座を実施するのはどうか。市民センターとの共催でも良いと思う。

【榴岡図書館からの回答】

今後の自主事業計画で検討したい。

○図書館だよりをととても楽しみにしている。スタッフのおすすめ本は、自分が読んだことのない本に出合えるのはとても嬉しい。（利用者）

【榴岡図書館からの回答】

年に2回発行している。今年度も3月発行予定なので楽しみにして欲しい。

懇談会の様子

